

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

平成28年熊本地震への支援を 支援金を受け付けています

4月14日（金）・16日（日）に大きな地震が発生し、現在なおも余震が続いている熊本県。全日本ろうあ連盟では直ちに聴覚障害者災害救援対策本部会議を行い、支援への体制を整えています。熊本県においてもろう協会、難聴協会、盲ろう、通研、手話サークル、要約筆記サークル、情報提供施設の7団体1機関により熊本地震聴覚障害支援対策本部が設置されました。聴覚障害者災害救援九州ブロック本部も福岡県聴覚障害者センターに置かれました。

全日本ろうあ連盟では、熊本地震によって被災を受けられた被災者・団体を支援するため、平成28年熊本地震支援金を受け付けることになりました。富山県聴覚障害者協会として支援金を集めて送金したいと思います。協会専門部会で方法を協議してから皆さんにお知らせしますので、よろしくお願ひします。

もし、富山で災害が起きたら、北信越地区で起きたらどのように動いたら良いのか、本会では聴覚障害者災害救援富山県本部を設置していますが、日頃からの準備が大切と痛感します。また、全日本ろうあ連盟で販売している「手話で防災～聴覚障害者の災害時支援のために～」540円、「守ろう！LIFE—聴覚障害者の防災体制の確立のために—」1,404円を読んで頂けますようお願いいたします。

全国手話研修センター・日本手話研究所に手話総合資料室が設置 ホームページで公開されています。



全国手話研修センター後援会からの寄付金をもとに、「手話総合資料室」が設置され、ウェブサイトが公開されました。

(<http://jisls.jp/shiryu>) 明治時代のろう教育に関連した古い書籍からの電子データや、ろうあ運動・手話研究に関する会議の映像等があります。貴重な資料が見られますので一度ホームページをご覧ください。

後援会は毎年一口1,000円以上の会費を払って頂く必要があります。センターで受け付けていますので、今年も引き続き、入会をお願いします。

全国手話研修センターのホームページで第11回全国手話検定試験を受験するための詳しい案内も掲載されています。

センター利用の実績 3月21日～4月20日

- 来所者合計約 535名
聴障者約 308名、健聴者約 227名
- コミュニケーション支援 116件
- ライブラリー貸出 6件13本
- 相談対応 6件 ●部屋貸出 30件

★センター運営募金・募集★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会

野上忠一様 5,000円